

多摩総合医療センター精神科への妊婦のご依頼に関して

精神科医療機関

ご担当者各位

近年、精神疾患をお持ちの女性が当院産科で出産するのに併せて当科にご紹介されることが急増し他のケースも含めて当科の初診の予約が非常に取りにくくなっております。当院産科とも相談の上、精神症状が落ち着いている場合はかかりつけの先生方に治療の継続をお願いします。

薬物療法にご不安になる場合もあることと思いますが、それを含めたガイドが日本精神神経学会のHPに「精神疾患を合併した、或いは合併の可能性のある妊産婦の診療ガイド」として、掲載されておりこちらをご診療のご参照に載ければご懸念はなくなると思います。

簡単に申し上げますと、妊娠中の薬物療法に関しては一部の抗てんかん薬やリチウムを除き、維持療法中の通院患者については極端な減量はしないということが原則になっております。

患者さんで不安が強い方には、国立成育医療研究センターの「妊娠と薬外来」の利用をお勧めしております。ご参考戴ければ幸いです。

どうぞよろしく申し上げます。

妊婦のご診療に参考になるガイドのリンク先

精神疾患を合併した、或いは合併の可能性のある妊産婦の診療ガイド（日本精神神経学会）：https://www.jspn.or.jp/modules/advocacy/index.php?content_id=87

周産期メンタルヘルス コンセンサスガイド 2023（日本周産期メンタルヘルス学会）

http://pmhguideline.com/consensus_guide2023.html

2025年7月

多摩総合医療センター精神科部長

岩田 健